

ISE Design Suite 12 : インストール、ライセン ス、リリース ノート

UG631 (v12.3) 2010 年 9 月 21 日



Xilinx is disclosing this user guide, manual, release note, and/or specification (the "Documentation") to you solely for use in the development of designs to operate with Xilinx hardware devices. You may not reproduce, distribute, republish, download, display, post, or transmit the Documentation in any form or by any means including, but not limited to, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written consent of Xilinx. Xilinx expressly disclaims any liability arising out of your use of the Documentation. Xilinx reserves the right, at its sole discretion, to change the Documentation without notice at any time. Xilinx assumes no obligation to correct any errors contained in the Documentation, or to advise you of any corrections or updates. Xilinx expressly disclaims any liability in connection with technical support or assistance that may be provided to you in connection with the Information.

THE DOCUMENTATION IS DISCLOSED TO YOU "AS-IS" WITH NO WARRANTY OF ANY KIND. XILINX MAKES NO OTHER WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, OR STATUTORY, REGARDING THE DOCUMENTATION, INCLUDING ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NONINFRINGEMENT OF THIRD-PARTY RIGHTS. IN NO EVENT WILL XILINX BE LIABLE FOR ANY CONSEQUENTIAL, INDIRECT, EXEMPLARY, SPECIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING ANY LOSS OF DATA OR LOST PROFITS, ARISING FROM YOUR USE OF THE DOCUMENTATION.

© Copyright 1995 - 2010. Xilinx, Inc. XILINX, the Xilinx logo, Artix, ISE, Kintex, Spartan, Virtex, and other designated brands included herein are trademarks of Xilinx in the United States and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

本資料は英語版 (v.12.3) を翻訳したもので、内容に相違が生じる場合には原文を優先します。資料によっては英語版の更新に対応していないものがあります。日本語版は参考用としてご使用の上、最新情報につきましては、必ず最新英語版をご参照ください。

改訂履歴

次の表に、この文書の改訂履歴を示します。

日付	バージョン	改訂内容
04/19/10	12.1	初版リリース
07/23/2010	12.2	12.2 リリース用にアップデート
09/21/2010	12.3	12.3 リリース用にアップデート

このマニュアルについて

このマニュアルでは、ザイリンクスの ISE (Integrated Software Environment) ソフトウェア、ChipScope™ Pro ソフトウェア、エンベデッド ツール (エンベデッド開発キット (EDK) およびスタンドアロンのソフトウェア開発キット (SDK))、System Generator for DSP、PlanAhead™ などを含む ISE Design Suite 12 のインストール方法とそのライセンスについて説明します。また、ザイリンクス オンライン マニュアルの使用方法についても説明します。

ISE Design Suite 12 のテクニカル サポートおよび既知の問題についても説明します。

マニュアルの内容

このマニュアルは次の章から構成されています。

- 第 1 章「12.3 の新機能、リリース ノートおよび既知の問題」
- 第 2 章「OS、アーキテクチャ サポート、システム要件」
- 第 3 章「ダウンロードおよびインストール」
- 第 4 章「ライセンスの取得および管理」
- 第 5 章「テクニカル サポート、サービス、関連文書」

このマニュアルには、次の付録が含まれます。

- 付録 A「サードパーティのライセンス」

その他のリソース

追加資料はこちらのザイリンクスの Web サイトを参照してください。

<http://japan.xilinx.com/support/documentation/index.htm>

シリコンやソフトウェア、IP に関するアンサー データベースを検索したり、テクニカル サポートのウェブ ケースを開く場合は、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://japan.xilinx.com/support>

最新バージョンの『USB Cable Installation Guide』は、次のザイリンクスの Web サイトから入手できます。

http://japan.xilinx.com/support/documentation/user_guides/ug344.pdf

最新バージョンの Platform Cable USB II のデータシートは、次のザイリンクスの Web サイトから入手できます。

http://japan.xilinx.com/support/documentation/data_sheets/ds593.pdf

最新バージョンの Parallel Cable IV のデータシートは、次のザイリンクスの Web サイトから入手できます。

http://japan.xilinx.com/support/documentation/data_sheets/ds097.pdf

表記規則

このマニュアルでは、次の表記規則を使用しています。各規則について、例を挙げて説明します。

書体

次の規則は、すべてのマニュアルで使用されています。

表記規則	使用箇所	例
Courier フォント	システムが表示するメッセージ、プロンプト、プログラム ファイルを表示します。	speed grade: - 100
Courier フォント (太字)	構文内で入力するコマンドを示します。	ngdbuild design_name
イタリック フォント	ユーザーが値を入力する必要のある構文内の変数に使用します。	<i>ngdbuild design_name</i>
二重/一重かぎカッコ『』、「」	『』はマニュアル名を、「」はセクション名を示します。	詳細については、『開発システムリファレンス ガイド』の「PAR」を参照してください。
角カッコ []	オプションの入力またはパラメータを示しますが、 bus[7:0] のようなバス仕様では必ず使用します。また、GUI 表記にも使用します。	ngdbuild [option_name] design_name [File] → [Open] をクリックします。
中カッコ { }	1 つ以上の項目を選択するためのリストを示します。	lowpwr = {on off}
縦棒	選択するリストの項目を分離します。	lowpwr = {on off}
縦の省略記号 . . .	繰り返し項目が省略されていることを示します。	IOB #1: Name = QOUT' IOB #2: Name = CLKIN' . . .
横の省略記号 ...	繰り返し項目が省略されていることを示します。	allow block block_name loc1 loc2 ... locn;

オンライン マニュアル

このマニュアルでは、次の規則が使用されています。

表記規則	使用箇所	例
青色の文字	マニュアル内の相互参照を示します。	詳細については、「 その他のリソース 」を参照してください。 詳細については、第 1 章「 タイトルフォーマット 」を参照してください。
赤色の文字	ほかのマニュアルへの相互参照を示します。	詳細については、『Virtex-II Platform FPGA ユーザーガイド』の 図 2-5 を参照してください。
青色の下線付き文字	Web サイト (URL) へのハイパーリンクです。	最新のスピード ファイルは、 http://japan.xilinx.com から入手できます。

目次

改訂履歴.....	3
このマニュアルについて	
マニュアルの内容	5
その他のリソース	5
表記規則.....	6
書体.....	6
オンライン マニュアル.....	7
第 1 章：12.3 の新機能、リリース ノートおよび既知の問題	
新機能	11
Microsoft Windows のみ	11
オンライン	11
既知の問題.....	11
第 2 章：OS、アーキテクチャ サポート、システム要件	
オペレーティング システム	13
Microsoft Windows	13
Red Hat Enterprise Linux.....	14
SUSE Linux Enterprise	14
アーキテクチャ	14
システム要件.....	17
ISE Design Suite	17
ケーブル インストール要件.....	17
システム メモリ要件	17
OS と使用可能なメモリ	18
装置とアクセス権.....	19
ネットワーク時刻の同期化	19
ChipScope Pro Analyzer	19
ケーブル インストール要件.....	19
システム メモリ要件	20
System Generator for DSP のシステム要件.....	20
推奨ハードウェア	20
OS とソフトウェア要件	20
第 3 章：ダウンロードおよびインストール	
ISE Design Suite 12 のダウンロード	21
ISE Design Suite 12 のインストール (全 OS 共通).....	22
OS 別インストール手順	23
Microsoft Windows	23
インストールの開始方法	23
環境変数の設定方法.....	23
Linux	23
インストールの開始方法	23
環境変数の設定方法.....	23
インストール フロー	24
はじめに	24
ソフトウェア ライセンスの承諾	25
インストールするザイリンクス製品の選択	26
インストール オプションの選択	26

インストール ディレクトリの選択	28
インストール オプションのサマリ	29
USB FLEXid ドングル ドライバのインストール	29
ネットワーク インストール	30
UNIX クライアント	31
Microsoft Windows クライアント	31
割り当てたネットワーク ドライブへのインストール	31
バージョン 12 のアップデートの取得	31
XilinxNotify	32
ダウンロード センタ	32
ISE Design Suite 12 のアンインストール	32
Microsoft Windows	32
Linux	32
ModelSim ザイリンクス版 6.5c のインストール (Windows のみ) - オプション	33
互換性のあるサードパーティ ツール	39

第 4 章：ライセンスの取得および管理

製品ライセンス サイトへのアクセス	41
製品ライセンスのアカウント	42
ISE Design Suite 12 の LogiCORE IP ライセンスの生成	43
ユーザー タイプとアクション	43
カスタム アカウント管理者	43
エンド ユーザー	43
評価ユーザー	44
ライセンス ファイルの生成	45
製品の選択	45
ライセンスの生成	48
エンド ユーザー ライセンス契約 (EULA)	50
サードパーティのライセンス	50
ライセンス生成の確認	50
ライセンス ファイルの管理	51
既存ライセンス ファイルの検索と抽出	53
ライセンス ファイルの修正	53
無効になった製品ライセンスの有効化	53
ユーザー アクセスの管理	54
ユーザーの追加	55
ユーザーの削除	55
ライセンス キー ファイルのインストール	55
ノード ロック ライセンスのインストール	55
サーバーへのフローティング ライセンスのインストール	56
新規ライセンス サーバーの場合	56
クライアント マシンからのフローティング ライセンスの指定	57

第 5 章：テクニカル サポート、サービス、関連文書

テクニカル サポート	59
トレーニング サービス	59
マニュアル	60
オンライン ヘルプ	60
ソフトウェア マニュアル	60
ユーザー チュートリアル	60
ソフトウェア メッセージ	60

付録 A：サードパーティのライセンス

12.3 の新機能、リリース ノート および 既知の問題

この章では、ISE Design Suite 12 に含まれる重要な製品情報、新機能のリスト、既知の問題などについて説明します。この章に含まれるセクションは、次のとおりです。

- 「新機能」
- 「既知の問題」

新機能

このセクションでは、新機能の情報入手方法について説明します。

Microsoft Windows のみ

新機能の情報は、japan.xilinx.com からのみ入手可能になりました。本書およびその他のマニュアルへのリンクは、ISE Design Suite の情報センタを使用してください。情報センタへは、[スタート] → [プログラム] → [Xilinx ISE Design Suite 12.3] → [マニュアル] → [ISE Design Suite 情報センタ] をクリックするとアクセスできます。

オンライン

新機能の情報は、次の Web サイトから入手できます。

http://japan.xilinx.com/support/documentation/sw_manuals/xilinx12_3/whatsnew.htm

System Generator for DSP は ISE Design Suite 12 に含まれます。System Generator for DSP の詳細は、次を参照してください。

http://japan.xilinx.com/support/documentation/dt_sysgendsp_sysgen12-3_userguides.htm

PlanAhead には、12.3 で新機能が追加されています。PlanAhead の新機能については、次を参照してください。

http://japan.xilinx.com/support/documentation/dt_planahead_planahead12-3_releasenotes-knownissues.htm

既知の問題

ISE Design Suite 12 の既知の問題については、ダイリンクスのアンサー #34466 を参照してください。

<http://japan.xilinx.com/support/answers/34466.htm>

OS、アーキテクチャ サポート、システム要件

この章では、ISE Design Suite 12 でサポートされる OS およびアーキテクチャのほか、システム要件についても説明しています。この章に含まれるセクションは、次のとおりです。

- 「オペレーティング システム」
- 「アーキテクチャ」
- 「システム要件」

オペレーティング システム

ISE Design Suite 12 でサポートされる OS は、Microsoft Windows、Red Hat Enterprise Linux、および SUSE Linux Enterprise です。

Microsoft Windows

次の表は、Microsoft Windows のサポートについて示しています。

表 2-1 : Microsoft Windows サポート (英語版/日本語版)

製品	XP Professional		Vista Business	
	32 ビット	64 ビット	32 ビット	64 ビット
デザイン入力およびインプリメンテーション ツール (ISE Design Suite 12)	○	○	○	○
ISE Simulator (ISim)	○	○	○	○
ISE WebPACK	○	○	○	○
ChipScope Pro および ChipScope Pro Serial I/O ツールキット	○	○	○	○
エンベデッド開発キット (EDK)	○	○	○	×
System Generator for DSP	○	○	○	○
ModelSim Xilinx Edition-III (MXE-III)	○	○	○	○

Red Hat Enterprise Linux

次の表は、Red Hat Enterprise Linux のサポートについて示しています。

表 2-2 : Red Hat Enterprise Linux サポート

製品	4 ワークステーション		5 デスクトップ	
	32 ビット	64 ビット	32 ビット	64 ビット
デザイン入力およびインプリメンテーション ツール (ISE Design Suite 12)	○	○	○	○
ISE Simulator (ISim)	○	○	○	○
ISE WebPACK	○	○	○	○
ChipScope Pro および ChipScope Pro Serial I/O ツールキット	○	○	○	○
エンベデッド開発キット (EDK)	○	○	○	○
System Generator for DSP	○	○	○	○
ModelSim Xilinx Edition-III (MXE-III)	×	×	×	×

SUSE Linux Enterprise

次の表は、SUSE Linux Enterprise 11 のサポートについて示しています。

表 2-3 : SUSE Linux Enterprise 11 のサポート (英語版/日本語版)

製品	32 ビット	64 ビット
デザイン入力およびインプリメンテーション ツール (ISE Design Suite 12)	○	○
ISE Simulator (ISim)	○	○
ISE WebPACK	○	○
ChipScope Pro および ChipScope Pro Serial I/O ツールキット	○	○
エンベデッド開発キット (EDK)	○	○
System Generator for DSP	○	○
ModelSim Xilinx Edition-III (MXE-III)	×	×

アーキテクチャ

ISE Design Suite 12 では、Virtex、Spartan、CPLD の 3 つのアーキテクチャ ファミリがサポートされます。次の表は、アーキテクチャのサポートについて示しています。

表 2-4 : アーキテクチャ サポート

	ISE WebPACK	ISE Design Suite (Logic Edition、Embedded Edition、DSP Edition、System Edition)
Virtex シリーズ	<p>Virtex-4</p> <p>LX : XC4VLX15、XC4VLX25</p> <p>SX : XC4VSX25</p> <p>FX : XC4VFX12</p> <p>Virtex-5</p> <p>LX : XC5VLX30、XC5VLX50</p> <p>LXT : XC5VLX20T、XC5VLX30T、XC5VLX50T</p> <p>FXT : XC5VFX30T</p> <p>Virtex-6</p> <p>LXT : XC6VLX75T、XC6VLX75TL</p>	<p>Virtex-4</p> <p>LX : すべて</p> <p>SX : すべて</p> <p>FX : すべて</p> <p>Virtex-5</p> <p>LX : すべて</p> <p>LXT : すべて</p> <p>SXT : すべて</p> <p>TXT : すべて</p> <p>FXT : すべて</p> <p>Virtex-6</p> <p>LX/LXT : すべて (低電力デバイス (L) も含む)</p> <p>CXT : すべて</p> <p>SXT : すべて (低電力デバイス (L) も含む)</p> <p>HXT : すべて</p> <p>メモ : エンベデッド開発キット (EDK) では Virtex-6 HXT はサポートされません。</p>

表 2-4 : アーキテクチャ サポート

	ISE WebPACK	ISE Design Suite (Logic Edition、Embedded Edition、DSP Edition、System Edition)
Spartan シリーズ	Spartan-3 : XC3S50 ~ XC3S1500 Spartan-3A : すべて Spartan-3AN : すべて Spartan-3A DSP : XC3SD1800A Spartan-3E : すべて Spartan-3L : XC3S1000L、XC3S1500L Spartan-6 : LX : XC6SLX4 ~ XC6SLX75 (L)、 LXT : XC6SLX25T、XC6SLX45T、 XC6SLX75L XA* Spartan-3 : すべて XA* Spartan-3E : すべて XA* Spartan-3A : すべて XA* Spartan-3A DSP : XC3SD1800A XA* Spartan-6 : すべて *ザイリンクス オートモーティブ	Spartan-3 : すべて Spartan-3A : すべて Spartan-3AN : すべて Spartan-3A DSP : すべて Spartan-3E : すべて Spartan-3L : すべて Spartan-6 LX/LXT : すべて (低電力デバイス (L) も含む) XA* Spartan-3 : すべて XA* Spartan-3E : すべて XA* Spartan-3A : すべて XA* Spartan-3A DSP : すべて XA* Spartan-6 : すべて *ザイリンクス オートモーティブ
CoolRunner XPLA3 CoolRunner-II XA* CoolRunner-II *ザイリンクス オート モーティブ	すべて	すべて メモ : エンベデッド開発キット (EDK) では CPLD はサポートされません。
XC9500 シリーズ	すべて (9500XV ファミリ以外)	すべて (9500XV ファミリ以外) メモ : エンベデッド開発キット (EDK) では CPLD はサポートされません。

システム要件

このセクションでは、サポートされる OS、Web ブラウザ、ケーブル インストール、システム メモリ 要件について説明します。

ISE Design Suite

ケーブル インストール要件

ザイリンクス デザイン ツールでターゲット ハードウェアをプログラムおよびコンフィギュレーションするには、ハイ パフォーマンスなケーブルである、Platform Cable USB II または Parallel Cable IV が必要です。

Platform Cable USB II をインストールする場合は、少なくとも USB 1.1 ポートが必要になります。最適なパフォーマンスには、USB 2.0 ポートで Platform Cable USB II を使用することをお勧めします。

Parallel Cable IV をインストールするには、パラレル ポート コネクタとパラレル ポート通信がサポートされるシステムが必要です。

ケーブルは、Windows XP Professional、Windows Vista Business、Redhat Linux Enterprise、SUSE Linux Enterprise 11 の 32 ビットおよび 64 ビット バージョンで公式にサポートされています。OS 別の注意点は、次を参照してください。

- **Linux すべて :** Linux にケーブル ドライバをインストールするには、ルート ディレクトリの権限が必要です。
- **SUSE Linux Enterprise 11 :** Platform Cable USB II が正しく動作するためには、fxload ソフトウェア パッケージが必要です。fxload パッケージは SUSE Linux Enterprise 11 には自動的にインストールされないため、そのユーザーまたはシステム管理者がインストールしておく必要があります。
- **Linux LibUSB サポート :** LibUSB パッケージに基づく Platform Cable USB II の暫定的なサポートは、ザイリンクスの Web サイトから入手できます。詳細については、[アンサー #25249](#) を参照してください。

ザイリンクス ケーブルに関するその他の情報は、次のマニュアルを参照してください。

- [USB ケーブル インストール ガイド \(UG344\)](#)
- [Platform Cable USB II データシート \(DS593\)](#)
- [Parallel Cable IV データシート \(DS097\)](#)

システム メモリ要件

このセクションでは、ISE Design Suite 12 を使用するのに必要な RAM および仮想メモリについて説明します。

次のリンク先の表は、標準的なデザインに必要なシステム要件を示しています。ただし、実際に必要なリソースはデザインによって異なります。デザインの複雑さや制約により、インプリメントに必要なメモリ容量は異なるため、システム リソースを必ず確認し、必要であればメモリを追加してください。メモリ要件の詳細は、次を参照してください。

<http://japan.xilinx.com/ise/products/memory.htm>

OS と使用可能なメモリ

Microsoft Windows および Linux OS のアーキテクチャ場合、ザイリンクス プログラムに使用できるメモリの最大容量に制限があり、大規模デバイスおよび複雑なデバイスを作成する際に問題となることがあります。ISE Design Suite 12 には最適化メモリが含まれており、ザイリンクス ソフトウェア用に RAM を増加できるようになっています。

Windows XP Professional 32 ビット

ザイリンクス アプリケーションでは、Windows 32 ビットでメモリ増加機能が取り入れられるようになっていますが、ユーザーの方でもより大規模なメモリを使用できるように Windows 設定を変更する必要があります。

標準の Windows では、ザイリンクスのプロセスに使用できる最大メモリ容量は 2GB ですが、Windows XP Professional の場合は、RAM を 3 GB まで増加できるようになっています。ISE にはこのオプションがビルトインされていますが、Windows XP OS にも修正を加えないと、メモリは拡張できません。拡張するには boot.ini ファイルの startup ラインの終わりに /3GB を追加する必要があります。

ザイリンクス アプリケーションで 3GB サポートを使用する前に、マイクロソフトのサポート技術情報 (<http://support.microsoft.com/?kbid=328269>) を参照してください。Windows XP サービスパック 1 にアップグレードし、/3GB オプションを使用する場合、マイクロソフトからのパッチをインストールしていないとマシンを再起動できません。詳細は、ザイリンクス [アンサー #17905](#) を参照してください。

変更を加える前に、次を参照してください。

- 4GT RAM チューニングのアプリケーション使用については、マイクロソフトのサポート技術情報 Q17193 (<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;en-us;Q171793>) を参照してください。
- boot.ini ファイルの修正方法については、マイクロソフトのサポート技術情報 Q289022 (<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;en-us;q289022>) を参照してください。

Linux

ISE Design Suite 12 では、Linux 32 ビットとメモリ アロケーションの大きい Linux 64 の両方がサポートされます。Linux カーネルを変更すると、ザイリンクス アプリケーションで 3GB 以上のメモリを使用できるようになります。

32 ビットの Red Hat Enterprise Linux では、大規模メモリのカーネルを使用して各プロセスに 4GB 割り当てることができます。詳細については、Red Hat のサポート サイト (<http://www.redhat.com/docs/manuals/enterprise/>) を参照してください。

ISE では、メモリ アロケーションの大きい 64 ビットの Red Hat Enterprise Linux もサポートされます。

装置とアクセス権

次の表は、関連装置、アクセス権、ネットワーク接続の条件を示しています。

表 2-5: 装置とアクセス権の要件

項目	必要条件
ディレクトリのアクセス権	編集するデザイン ファイルが含まれるディレクトリすべての書き込み権が必要です。
モニタ	解像度 1024x768 ピクセル以上の 16 ビット カラー VGA をお勧めします。
駆動電力	<p>ISE Design Suite には DVD-ROM (Web からのダウンロードではなく、DVD を請求してインストールする場合)、MXE には CD-ROM が必要です。</p> <p>メモ : ModelSim Xilinx Edition および ModelSim Xilinx Edition Starter は、2010 年 12 月 10 日から CD で配布されなくなるほか、ダウンロードもできなくなります。ザイリンクスでは、この日付より、両方の製品に対するライセンスの生成を中止するほか、ライブラリのアップデートの提供も中止する予定です。これにより、ISE Design Suite 12.3 が ModelSim Xilinx Edition-III をサポートする最後の ISE バージョンになります。詳細は、製品中止通知 XCN10028 を参照してください。</p>
ポート	<p>デバイスのプログラムには、ザイリンクス プログラム ケーブル用にパラレル ポート、USB ポートのいずれかが必要です。ポートの仕様については、ケーブルのマニュアルを参照してください。</p> <p>メモ : ケーブル ドライバ ソフトウェアのインストールには、Windows XP Pro SP1 (またはそれ以降) または Windows Vista Business が必要です。これらの OS を使用していない場合、ケーブルが正しく動作しないことがあります。</p>

メモ : Exceed、ReflectionX、XWin32 のような X サーバー / リモート デスクトップ サーバーはサポートされません。

ネットワーク時刻の同期化

ソフトウェアがインストールされたコンピュータとは別のネットワーク コンピュータにユーザーのデザイン ファイルを保存する場合、どちらのコンピュータも同時刻に設定する必要があります。ソフトウェアのファンクションを最適にするため、時刻は定期的に合わせてください。

ChipScope Pro Analyzer

ケーブル インストール要件

Linux の場合、ルート ディレクトリの権限がないとケーブル ドライバをインストールできません。USB 2.0 ポート用に Platform Cable USB II をインストールする場合は、Windows XP SP2 以降を使用する必要があります。Platform Cable USB II は、ユーザー ハードウェアに接続されるハイパフォーマンスのダウンロード ケーブルで、ChipScope Pro Analyzer ツールを使用してデバイスのプログラム、コンフィギュレーション、デバッグを実行します。

システム メモリ要件

ChipScope Pro Analyzer には、1024MB のシステム メモリが必要です。ChipScope Pro Core Inserter ツールのメモリ要件は ISE と同じです。ISE で推奨されるメモリ容量の詳細は、<http://japan.xilinx.com/ise/products/memory.htm> を参照してください。

System Generator for DSP のシステム要件

推奨ハードウェア

表 2-6 : System Generator for DSP の推奨ハードウェア

推奨	メモ
4.00 GB の RAM	
600MB のハード ディスク容量	最低必要条件
ザイリンクス ハードウェア協調シミュレーションプラットフォーム	ハードウェア協調シミュレーションフローに必要

OS とソフトウェア要件

表 2-7 : System Generator for DSP の OS およびソフトウェア要件

必要条件	メモ
Windows XP Professional SP2、32 ビット/64 ビット または Windows Vista Business SP1、32 ビット/64 ビット または Red Hat Linux 4u7、32 ビット & 64 ビット	
ザイリンクス ISE Design Suite 12	
MathWorks MATLAB バージョン 2010a または 2010b	MATLAB 2010a には、Red Hat Enterprise Desktop 5.2、32-ビット/64-ビットの OS が必要です。Red Hat Enterprise Linux WS v4.7 とは互換性がありません。
MathWorks Simulink (Fixed-Point Toolbox 含む) バージョン 2010a または 2010b	MATLAB のインストール ディレクトリのパス名には、C:\MATLAB\R2010a のように、スペースを含まない名前を使用する必要があります。 53 ビットより大きい信号には Fixed-Point Toolbox が必要です。

ダウンロードおよびインストール

この章では、ISE Design Suite 12 および ModelSim ザイリンクス版 6.5c のダウンロードおよびインストール方法について説明します。含まれるセクションは、次のとおりです。

- 「ISE Design Suite 12 のダウンロード」
- 「ISE Design Suite 12 のインストール (全 OS 共通)」
- 「OS 別インストール手順」
- 「インストール フロー」
- 「USB FLEXid ドングル ドライバのインストール」
- 「ネットワーク インストール」
- 「バージョン 12 のアップデートの取得」
- 「ISE Design Suite 12 のアンインストール」
- 「ModelSim ザイリンクス版 6.5c のインストール (Windows のみ) - オプション」

ISE Design Suite 12 のダウンロード

このセクションでは、ISE Design Suite 12 のダウンロード方法を説明します。

まず、インターネット ブラウザを起動し、<http://japan.xilinx.com/support/download/index.htm> にアクセスします。

ザイリンクス ダウンロード センタのファイルはすべて Akamai ダウンロード マネージャを使用してダウンロードされます。ダウンロード前に、次を設定しておくことをお勧めします。

- ◆ entitlenow.com からのポップアップを許可する
- ◆ 保護されている項目もされていない項目も同じページに表示されるようにセキュリティ設定をする
- ◆ Java をインストールして Akamai マネージャを実行できるようにする

ISE ソフトウェアをダウンロードするには

1. Web サイトで [デザイン ツール] タブをクリックします。
2. ダウンロードするツールのバージョンをクリックします。
3. ダウンロードするインストーラのリンクをクリックします。

メモ : 12.x では、ISE Design Suite のインストーラーでも、ソフトウェア開発キット やラボ ツールのみをインストールできるようになっています。ISE Design Suite のインストーラをダウンロードする場合は、これらの個別のインストールプログラムをダウンロードする必要ありません。

4. ユーザー ID とパスワードを入力し、ザイリンクス アカウントにログインします。

メモ：ザイリンクス アカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成してください。

住所を確認する画面が表示されます。

5. 住所を確認し、[次へ] をクリックします。
6. Akamai ダウンロード マネージャがブラウザ内で起動され、ダウンロード プロセスが実行されます。

ザイリンクス ダウンロード センタのファイルのほとんどは TAR を使用して圧縮されており、解凍にはサードパーティ プロバイダのソフトウェアが必要になります。どのソフトウェアを使用するかは、各企業の IT 部門にお尋ねください。TAR ファイルによく使用されるソフトウェアには、7-ZIP、GNU ビルトイン ツール、WinZIP、WinRar などがあり、それぞれのプロバイダで開発されています。ザイリンクスでは関与しておりません。ザイリンクスでは、これらの提案されるソフトウェア ツールに関して、市販性、特定目的との適合性、不侵害などの点を含め、明示黙示を問わず一切保証も表明もいたしません。

ISE Design Suite 12 のインストール (全 OS 共通)

このセクションでは、すべての OS に共通する ISE Design Suite 12 のインストール方法を示します。各 OS でインストールを始める前に、次を実行してください。

1. ソフトウェアをインストールするシステムに適切な権限があることを確認します。プログラム ケーブル ドライブなどのコンポーネントには、管理者権限の必要なものもあります。
2. インストールを開始する前に、すべてのプログラムを終了します。
3. システムが必要条件を満たしているかどうかは、第 2 章「OS、アーキテクチャ サポート、システム要件」でご確認ください。
4. システムまたは製品オプションに伴うインストールの問題については、第 1 章「12.3 の新機能、リリース ノートおよび既知の問題」を参照してください。
5. ディレクトリ パスにスペースが含まれると、EDK がインストールされない可能性があるので、ご注意ください。

メモ：ISE Design Suite 12 の イン ス ト ーラ は、Windows で XILINX の よう な グローバル環境変数を設定しません。ザイリンクスソフトウェアの実行方法については、「OS 別インストール手順」でご確認ください。

OS 別インストール手順

このセクションでは、ISE Design Suite 12 のインストール方法を OS 別に説明します。

Microsoft Windows

このセクションでは、Microsoft Windows でのインストール方法を示します。

インストールの開始方法

インストールの開始方法は、インストール プログラムの取得方法によって異なります。詳細は、「[ISE Design Suite 12 のダウンロード](#)」を参照してください。

- インストール ファイルをダウンロードした場合は、そのファイルを解凍し、含まれる **xsetup.exe** プログラムを実行します。
- ISE Design Suite の DVD を請求した場合は、その DVD をドライブに入れます。インストールが自動的に始まるはずですが、始まらない場合は、Windows Explorer から DVD ディレクトリの **xsetup.exe** を実行します。

環境変数の設定方法

インストールが終了すると、環境変数バッチ ファイルが作成されます。デスクトップやプログラム グループなどのショートカットをクリックすると、アプリケーションが起動される前にこのファイルが呼び出されます。この環境を設定するコマンド ライン プロンプトへのショートカットは自動的に作成されます。このショートカットは、[Xilinx ISE Design Suite 12.3] → [アクセサリ] → [ISE Design Suite コマンド プロンプト] にあります。

make または script ファイルで環境変数を設定するには、次の手順に従ってください。

スクリプトに **<XILINX installation directory>\settings32.bat** または **settings64.bat** を追加します。インストールされた OS のビット幅に応じて、32 か 64 を選んでください。

Linux

このセクションでは、Linux でのインストールの起動および環境変数の設定方法について説明します。

インストールの開始方法

インストールの開始方法は、インストール プログラムの取得方法によって異なります。詳細は、「[ISE Design Suite 12 のダウンロード](#)」を参照してください。

- インストール ファイルをダウンロードした場合は、そのファイルを解凍し、含まれる **xsetup** プログラムを実行します。
- ISE Design Suite の DVD を請求した場合は、その DVD をドライブに入れます。ファイル マネージャでセットアップ ファイルをクリックするか、DVD ドライブを参照し、**./xsetup** と入力します。

環境変数の設定方法

インストールが終了すると、環境変数ファイルが作成されます。

1. XILINX インストール ディレクトリに移動します。
2. ザイリンクス インストール ディレクトリで、シェルによって **source settings32.(c)sh** または **source settings64.(c)sh** と入力します。

環境変数を手動で設定するか、ユーザーのセットアップ スクリプトから設定する場合は、上記の環境変数ファイルの設定をコピーすることをお勧めします。ザイリンクス環境変数設定は、OS によって異なります。

インストール フロー

このセクションでは、インストール プロセス中に表示される主な画面について説明します。

メモ： インストール画面でチェック ボックスのあるテキスト部分をクリックすると、画面下の [説明] フィールドにその詳細が表示されます。

はじめに

最初の画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。



ソフトウェア ライセンスの承諾

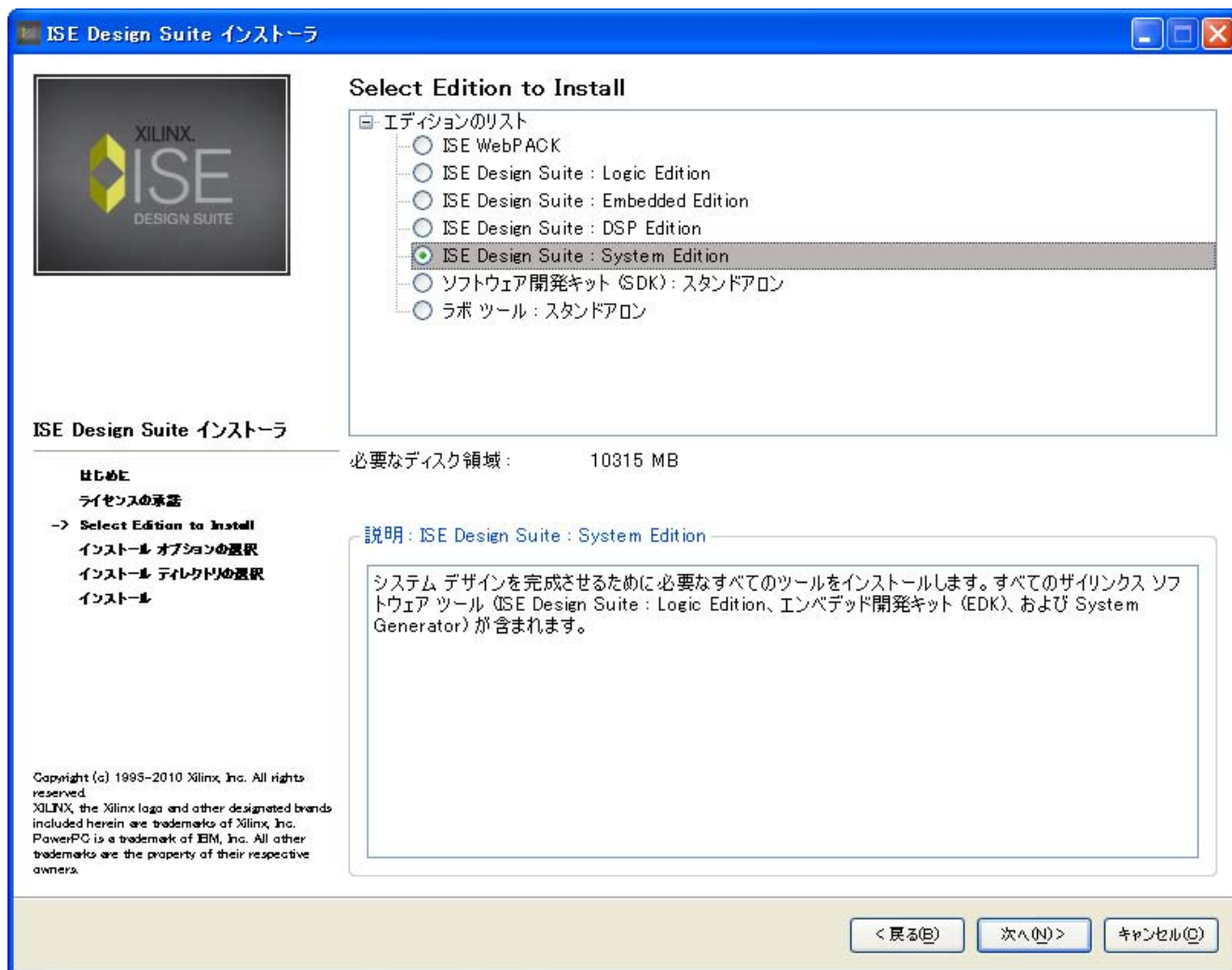
最初の画面の後は、次のような 2 つのソフトウェアライセンスの承諾を求める画面が表示されます。

1. どちらの画面でも [ソフトウェア ライセンスの条項を承諾] をオンにし、[次へ] をクリックします。



インストールするザイリンクス製品の選択

次の図は、インストールするザイリンクス製品を選択する画面です。



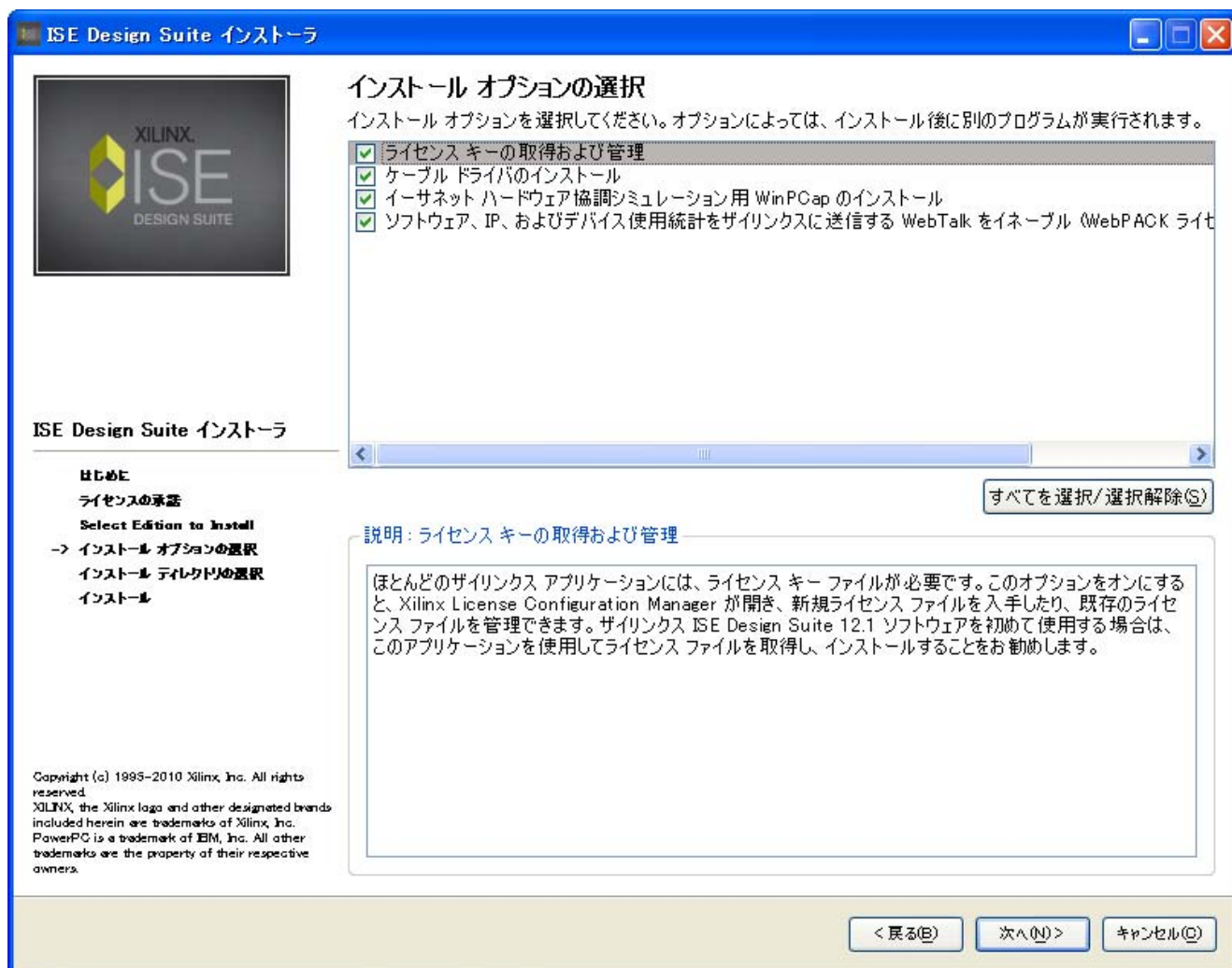
ISE Design Suite 12 では、WebPACK、さまざまな ISE Design Suite のエディション、2 つのスタンドアロン ツールがインストールできます。

メモ： ISE WebPACK のインストーラを実行すると、ChipScope Pro とエンベデッド開発キット (EDK) の両方がインストールされますが、これらのツールは別にライセンスを取得しないと使用できません。

インストール オプションの選択

インストール プロセス中には、複数のオプションのインストール手順が実行可能です。これらのオプションは、主なソフトウェア インストールが終了した後、プロセスの最後にインストールされます。オプションの中には、ダイアログ ボックスが表示され、ユーザーが反応するまでインストーラを停止してしまうものもあります。

次の図は、インストール オプションを選択する画面です。

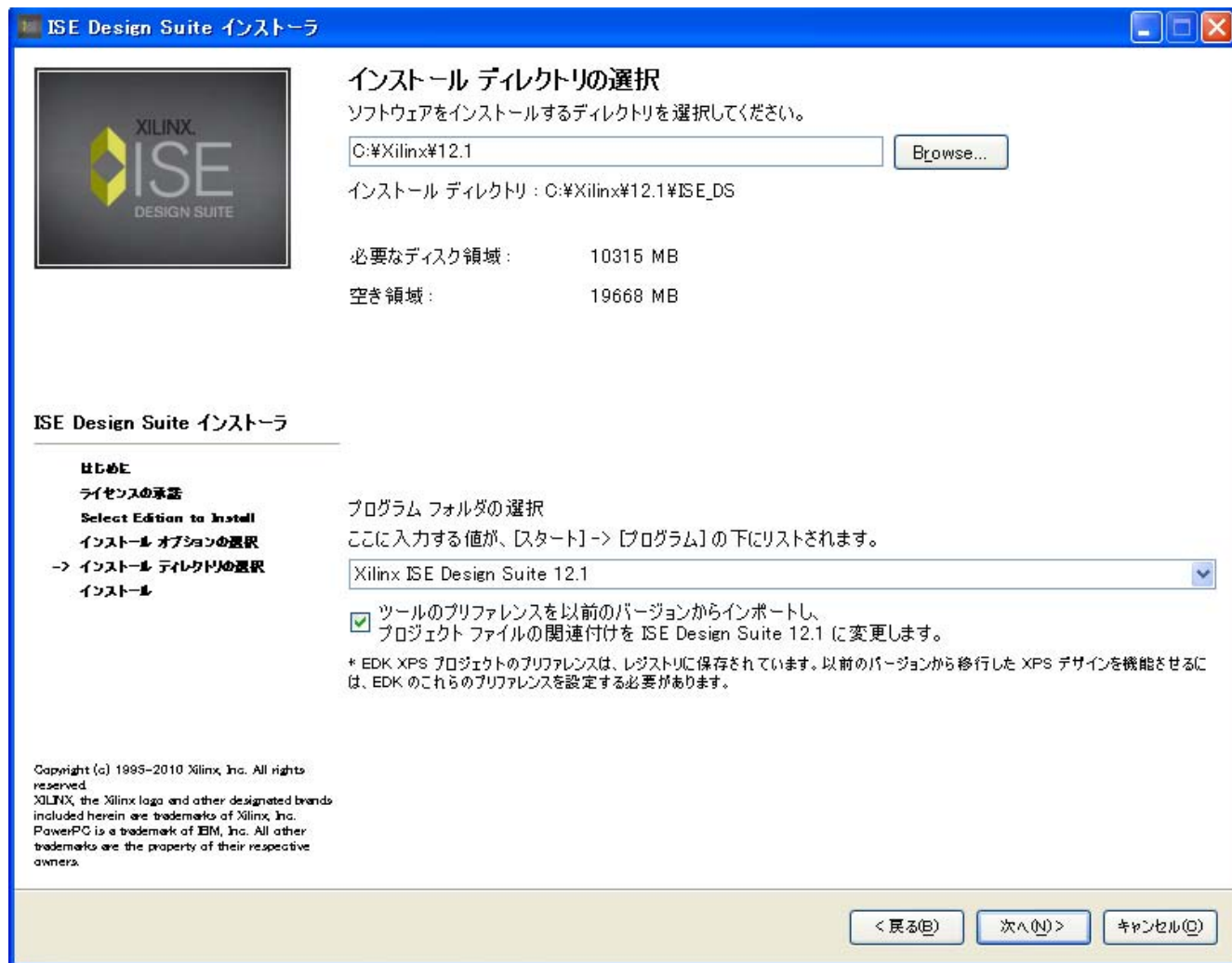


メモ：WebPACK の場合、WebTalk は常にオンになります。前の画面で ISE WebPACK を選択した場合は、[WebTalk をイネーブル] オプションは選択できないようになります。Edition 製品をインストールした場合は [WebTalk をイネーブル] をオフにすることができますが、デザインのプロセスに WebPACK ライセンスが使用される場合は、[WebTalk をイネーブル] のプリファレンスは無視されます。詳細については、インストーラで [WebTalk をイネーブル] をクリックして、説明をお読みください。

インストール ディレクトリの選択

[インストール ディレクトリの選択] 画面では、ソフトウェアのインストール先とプログラム フォルダのリストに表示される名前を入力します。指定したインストール パスの下には、階層が 1 レベル追加されます。このディレクトリ名は、インストールする製品によって異なります。Edition や WebPACK をインストールする場合、ディレクトリ名は \ISE_DS に、ラボ ツールをスタンドアロンでインストールする場合は \LabTools、SDK をスタンドアロンでインストールする場合は \SDK になります。これにより、ハード ドライブに Edition ツールとスタンドアロン ツールが共存できるようになります。

メモ：インストール ディレクトリとプログラム フォルダに日本語は使用できません。



インストール オプションのサマリ

[インストール オプションのサマリ] 画面では、インストールするツール、製品、オプションのサマリが表示されます。変更する場合は、[戻る] ボタンをクリックして、該当画面で変更してください。インストールを開始する場合は、[インストール] をクリックします。



インストール プロセスの最後に Xilinx License Configuration Manager がデフォルトで開きます。画面の指示に従って、ライセンス ファイルを取得または指定します。

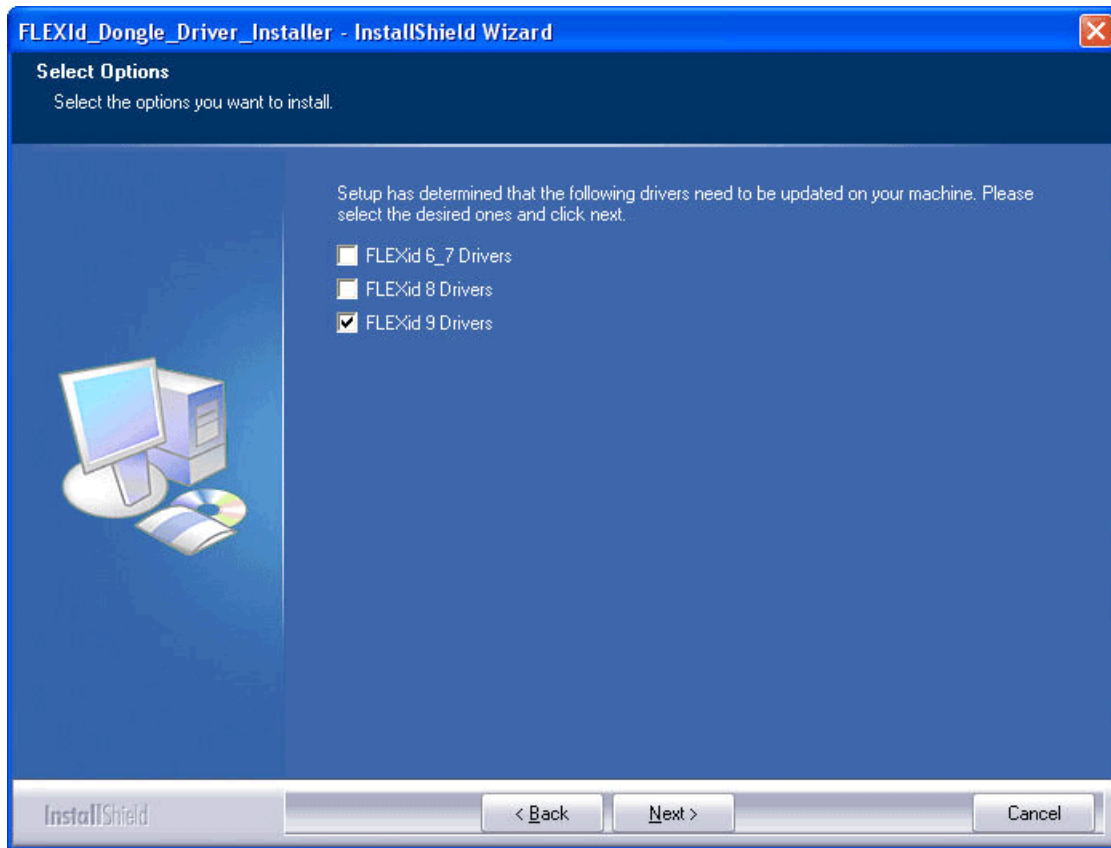
メモ : EDK には、Red Hat の Cygwin ツールが必要です。このツールは、EDK をインストールするとコピーされます。

USB FLEXid ドングル ドライバのインストール

Windows OS 用の USB FLEX ID ドングルを購入した場合は、FLEXnet ライセンスを生成する前に最適なドライバをインストールしておく必要があります。

1. まずザイリンクス ISE Design Suite 12.3 をインストールします。これには、USB FLEXid ドングルドライバのインストーラが含まれます。

2. <Xilinx Installation Directory>\12.2\ISE_DS\ISE\bin\nt の **FLEXid_Dongle_Driver_Installer.exe** を実行します。
3. [Select Options] の画面で [FLEXid 9 Drivers] のみを選択します。



4. [Next] を 2 回クリックすると、ドライバがインストールされます。

インストールが終了すると、再起動するかどうかを尋ねる画面が表示されます。 dongle が正しく機能するには、再起動をする必要があります。

ネットワーク インストール

ネットワーク上にソフトウェアをインストールすると、そのネットワーク ドライブのソフトウェアに複数のクライアント マシンからアクセスできます。ネットワーク上のソフトウェアを使用する場合、環境変数、レジストリ、プログラム グループなどすべてにネットワークのディレクトリが指定されている必要があります。このセクションでは、ネットワーク設定の手順について説明します。

UNIX クライアント

ソフトウェアがインストールされた `$XILINX` ディレクトリの `settings32.(c)sh` または `settings64.(c)sh` (使用している OS によって異なる) を `source` コマンドで実行します。これらのシェルを使用すると、ザイリンクスの環境変数、パス、`LD_LIBRARY_PATH` 変数にインストール ディレクトリが指定されます。

ネットワーク上のインストール ディレクトリからアプリケーションを実行するには、**X Windows Display Manager** を起動し、`DISPLAY` 環境変数を設定する必要があります。`DISPLAY` はモニタの名前として定義します。`DISPLAY` は通常 `unix:0.0` です。たとえば、次の構文は `bigben` というホスト上のソフトウェアを実行し、`mynode` というクライアント マシンのモニタにグラフィックを表示します。

```
setenv DISPLAY mynode:0.0
xhost = bigbenPC Clients
```

Microsoft Windows クライアント

1. ISE ソフトウェア ツールを PC ネットワーク サーバーにインストールします。この場合、ユーザーがソフトウェアのインストール ディレクトリの場所を知っていること、またユーザーにそのディレクトリへのアクセス権があることを確認してください。
2. ネットワーク上の `<network_install_location>\common\bin\nt` ディレクトリにある `shortcutSetup.bat` ファイルを実行します。
このプログラム ファイルを実行すると、リモート ロケーションからザイリンクス ツールを実行するのに便利なプログラム グループやデスクトップ ショートカットが設定されます。
3. ローカル マシンから ISE ツールを起動するには、[スタート] → [プログラム] から該当するツールを選択するか、デスクトップのショートカットをダブルクリックします。

割り当てたネットワーク ドライブへのインストール

ザイリンクス ソフトウェアは、ルート ディレクトリの下フォルダ (`C:\Xilinx`) にインストールされるように設定されています。ネットワーク ドライブにインストールする場合にサブディレクトリを定義しないと、このローカルのルート ディレクトリにインストールされるように指定されてしまいます。

この問題を回避するには、ネットワーク ディレクトリの下にインストール ディレクトリ `\Xilinx` を作成します (例: `N:\Xilinx`)。

バージョン 12 のアップデートの取得

ザイリンクスでは、四半期ベースで **ISE Design Suite 12** のアップデート バージョンをリリースする予定です。アップデートには、デバイス サポートのアップデート、新機能、バグ修正などが含まれます。これまでのリリースと異なり、**ISE Design Suite 12** の四半期リリースはフル バージョンでリリースされます。たとえば、12.1 から 12.3 へのアップデートはできません。12.3 のインストーラは完全な 12.3 バージョンをターゲット マシンの別のディレクトリにインストールします。このセクションでは、`XilinxNotify` やダウンロード センタからソフトウェア アップデートを入手する方法について説明します。

XilinxNotify

XilinxNotify ツールは、推奨されるソフトウェア アップデートの入手方法で、次のような機能があります。

- <http://www.xilinx.com/support> にリリースされている最新のザイリンクス ソフトウェア アップデートとインストールされているバージョンを比較し、より新しいバージョンが利用可能かどうかを通知します。

[Download] ボタンをクリックすると、ブラウザが起動され、ザイリンクス ダウンロード センタにログインする画面が表示されます。ログインしたら、選択した製品のダウンロードが開始されます。XilinxNotify は、次のいずれかの方法で使用できます。

- Project Navigator の [Help] → [Check for Updates] をクリック
- [スタート] → [プログラム] → [Xilinx ISE Design Suite 12.3] → [アクセサリ] → [アップデートのチェック] を順にクリック
- Linux シェルで `xilinxnotify` と入力

メモ：Project Navigator で [Edit] → [Preferences] → [XilinxNotify] をクリックして表示されるページでは、Project Navigator の起動時にアップデートがチェックされる頻度を設定できます。

ダウンロード センタ

ソフトウェア アップデートは、ダウンロード センタに定期的にアップロードされます。

<http://japan.xilinx.com/support/download/index.htm>

ISE Design Suite 12 のアンインストール

Microsoft Windows

このセクションでは、Microsoft Windows で ISE Design Suite に含まれる製品をアンインストールする方法について説明します。

ザイリンクス製品をアンインストールするには、まずその製品を [スタート] メニューから選択します。ISE WebPACK または ISE Design Suite の Edition をアンインストールするには、[スタート] → [プログラム] → [Xilinx ISE Design Suite 12.3] → [アクセサリ] → [アンインストール] をクリックします。

インストールしたプログラムによっては、WinPcap 4.0 のような補助アプリケーション (DSP ツールのオプション コンポーネント) もアンインストールする必要があります。

アンインストールする場合、ザイリンクス インストール ディレクトリからプロジェクト ファイルを移動しておかないと、削除されてしまいます。

Linux

ザイリンクスの Design Suite 製品をアンインストールするには、シェルでザイリンクス インストール ディレクトリを削除します。

ModelSim ザイリンクス版 6.5c のインストール (Windows のみ) - オプション

ModelSim ザイリンクス版 (MXE) 6.5c を既にご購入済みの場合は、MXE をインストール後に登録すると、ライセンス ファイルが送付されます。MXE に関する製品および購入情報は、最寄りの販売代理店にお問い合わせになるか、次のザイリンクス Web サイトをご覧ください。

http://japan.xilinx.com/ise/optional_prod/mxe.htm

MXE をインストールするには、次の手順に従います。

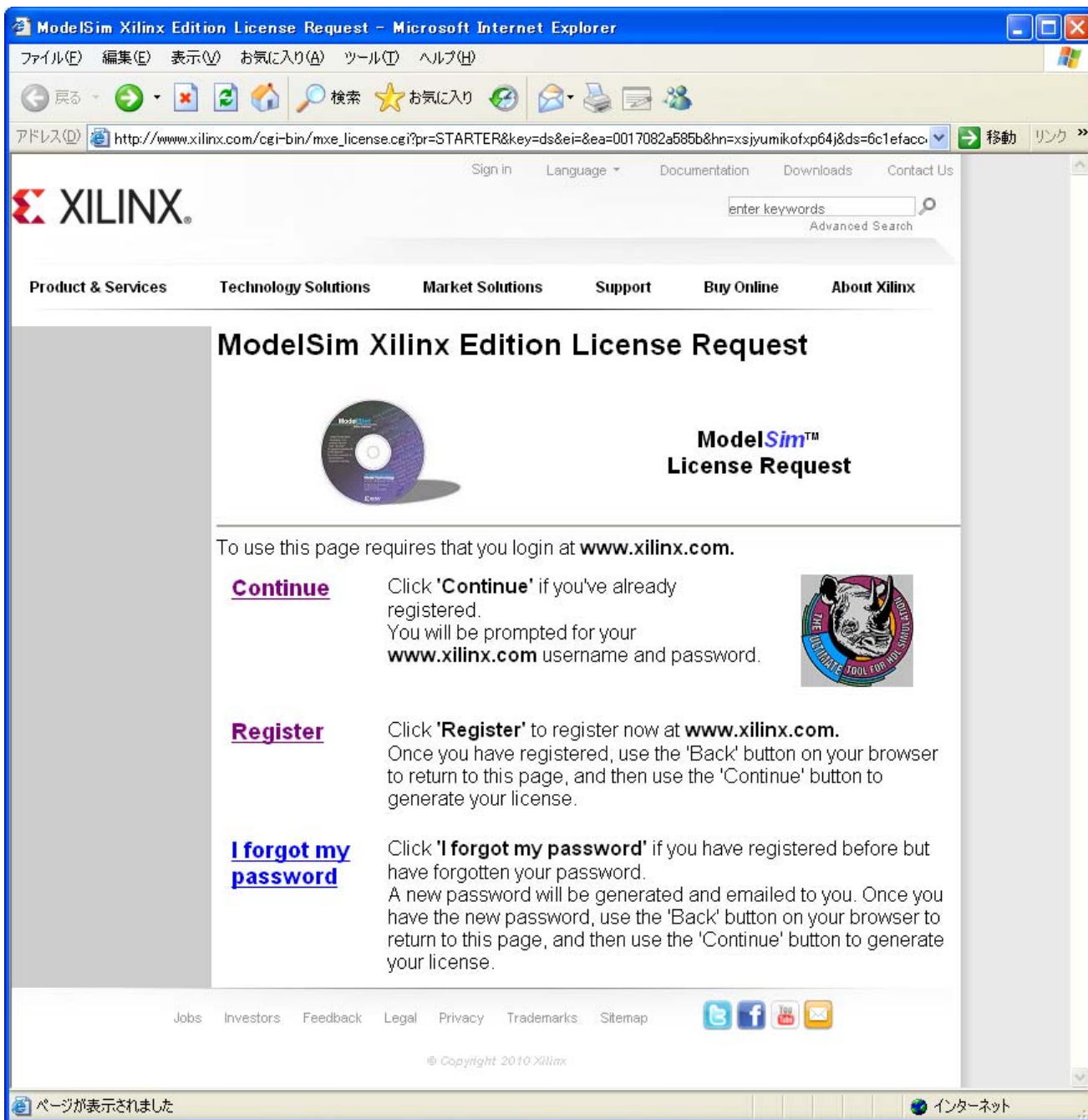
1. ModelSim ザイリンクス版の CD を挿入します。
2. 開始されない場合は、[スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックし、D:\setup.exe (DVD ドライブが D:\ の場合) と入力します。
3. 指示に従って、インストールを開始します。
4. インストールの最後に、以下のメッセージが表示されるので [はい] を選択します。




5. [Finish] をクリックします。



6. ライセンス請求フォームがブラウザに表示されます。ザイリンクスユーザーアカウントをお持ちの場合は、[Continue] をクリックし、サインインページからログインしてください。ザイリンクスユーザーアカウントをまだ作成していない場合は、[Register] をクリックし、サインインページの [Create Account] ボタンをクリックし、アカウントを作成してください。




7. ログイン後、Xilinx Edition Starter License Request ページが表示されますので、必要事項をご確認の上、[Submit] ボタンをクリックします。



ModelSim™ Xilinx Edition - Starter License Request

Thank you for choosing to use the **ModelSim™ Xilinx Edition** simulator. Please fill out the following information and your license will be e-mailed to you within a few minutes.



WARNING: Please use caution when registering this license.

- ▶ The license will **ONLY** be sent by email.
- ▶ Please verify your email address.
- ▶ Please be sure that you can receive an attachment named 'license.dat'
- ▶ Please be sure you can accept email from **mx_e_distribution@xilinx.com**

Product :	STARTER,	Xilinx Edition - Starter.
HostID:	0cc9fc05,	Disk SerialNumber.
*First Name:	<input type="text" value="Ichiro"/>	
*Last Name:	<input type="text" value="Suzuki"/>	
Title:	<input type="text"/>	
*Company:	<input type="text" value="Xilinx, inc"/>	
*Address:	<input type="text" value="Art Village Osaki Central Tower 4F"/>	
	<input type="text" value="1-2-2 Osaki, Shinagawa-ku"/>	
*City:	<input type="text" value="Tokyo"/>	*State/Region: <input type="text" value="Tokyo"/>
*Post/Zip:	<input type="text" value="141-0032"/>	*Country: <input type="text" value="Japan"/>
*Phone:	<input type="text" value="81-3-6744-7777"/>	Fax: <input type="text"/>
*E-mail:	<input type="text" value="ichiro.suzuki@xilinx.com"/>	

* Fields marked with asterisk (*) are **required**.
Please note that the license will be emailed to the address above, so it must be valid.

8. ライセンス ファイルが電子メールでお手元に送信されます。

9. ライセンスファイルを保存し、プログラムグループから [License Wizard] を起動後、[Continue] をクリックします。



10. [License File Location] で保存したファイルを指定し、[OK] をクリックします。



11. [Yes] をクリックすると、LM_LICENSE_FILE 環境変数が自動的に設定されます。



12. 環境変数が設定された確認メッセージがでます。[OK] をクリックします。



13. 再度 [License Wizard] を起動し、[Continue] をクリックした後、[License File Location] でファイルの保存場所を確認します。次のダイアログボックスが表示され、ライセンスの設定が完了します。



送信されたライセンスファイルの内容は、既存の `license.dat` ファイルに切り取って貼り付けることもできます。

メモ：MXE は、Xilinx Platform Studio ではサポートされないシミュレータです。また、ModelSim Xilinx Edition および ModelSim Xilinx Edition Starter は、2010 年 12 月 10 日から CD で配布されなくなるほか、ダウンロードもできなくなります。ザイリンクスでは、この日付より、両方の製品に対するライセンスの生成を中止するほか、ライブラリのアップデートの提供も中止する予定です。これにより、ISE Design Suite 12.3 が ModelSim Xilinx Edition-III をサポートする最後の ISE バージョンになります。詳細は、製品中止通知 XCN10028 を参照してください。

互換性のあるサードパーティ ツール

サードパーティ ツール	Red Hat Linux	Red-Hat Linux-64	SUSE Linux	SUSE Linux-64	Windows XP	Windows XP-64	Windows Vista	Windows Vista-64
シミュレーション								
MTI ModelSim® Xilinx Edition III (6.5c)	なし	なし	なし	なし	√	√	√	√
Mentor Graphics ModelSim SE (6.5c)	√	√	√	√	√	√	√	√
Mentor Graphics ModelSim PE, DE (6.5c)	なし	なし	なし	√	√	√	√	√
Cadence Incisive® Enterprise Simulator (IES) (9.2)	√	√	√	√	なし	なし	なし	なし
Synopsys VCS® および VCS MX (D2009.12)	√	√	√	√	なし	なし	なし	なし
MathWorks MATLAB® (2009b、2010a)	√	√	√	√	√	√	√	√
MathWorks Simulink® with Fixed-Point Toolbox (2009b、2010a)	√	√	√	√	√	√	√	√
合成								
Synopsys Synplify®/Synplify Pro (E-2010.09)	√	√	√	√	√	√	√	√
Mentor Graphics Precision® RTL/Plus (2010a)	√	√	√	√	√	√	√	√
等価チェック								
Cadence Encounter® Conformal® (9.1)	√	√	√	√	なし	なし	なし	なし

ライセンスの取得および管理

ザイリンクスの製品ライセンス (Product Licensing) サイトからは、ザイリンクス ソフトウェアおよび IP 製品のダウンロード、ライセンス、評価などのオンライン サービスを利用できます。この章では、製品ライセンス サイトの FLEXnet ライセンス生成機能について説明しています。含まれるセクションは、次のとおりです。

- 「製品ライセンス サイトへのアクセス」
- 「製品ライセンスのアカウント」
- 「ユーザー タイプとアクション」
- 「ライセンス ファイルの生成」
- 「ライセンス ファイルの管理」
- 「ユーザー アクセスの管理」
- 「ライセンス キー ファイルのインストール」

製品ライセンス サイトへのアクセス

製品ライセンス (Product Licensing) サイトには、生成するライセンスの種類によってさまざまな方法でアクセスできます。

- 製品を購入した場合は、注文確認の電子メールに含まれるリンクをクリックします。このリンクをクリックすると、購入した製品の権利情報を含むアカウントに直接アクセスできます。
- ISE Design Suite 12 製品を評価する目的の場合は、http://japan.xilinx.com/ise_eval にアクセスします。
- IP 製品を評価する場合は、<http://japan.xilinx.com/ipcenter> の該当する IP 製品ページの [IP 評価] リンクをクリックします。
- 製品ライセンス サイトには、<http://japan.xilinx.com/getlicense> から直接アクセスできます。

Sign in to Xilinx



The screenshot shows the Xilinx login interface. On the left, there is a 'User ID' field, a 'Password' field, a link for 'Forgot your password?', and a 'Sign In' button. On the right, there is a section titled 'Don't have a Xilinx account yet?' which lists three benefits: receiving important news, accessing special content, and personalizing the web experience. Below this list is a 'Create Account' button.

図 4-2：サインイン ページ

まず、ザイリンクスのサイトにサインインする必要があります。既にザイリンクス ユーザー アカウントをお持ちの場合は、ユーザー ID とパスワードを入力して、連絡情報が正しいかどうかを確認します。アカウントをまだ作成していない場合は、[Create Account] ボタンをクリックし、アカウントを作成してください。

製品ライセンスのアカウント

ソフトウェアまたは IP 製品をザイリンクスから購入すると、ライセンスを購入したことになり、その製品のアップデートを使用する権利が 1 年間あります。ザイリンクス ソフトウェアおよび IP 製品を使用するライセンスは、そのライセンスの状況によって異なります。ライセンスは、次の要件で決まります。

- 購入した製品
- 購入したライセンス数
- ライセンス タイプ (フローティングまたはノード ロック)
- 製品有効期間 (製品アップデートは 1 年間入手可能)

このサイトからは、購入したソフトウェア ツールおよび IP の製品権利だけでなく、無償の製品や評価版 製品などのライセンスにもアクセスできます。フル ライセンスおよび無償ライセンスの場合は、1 年間の有効期限があります。ソフトウェア ツールの評価版は 30 日、IP の評価版は 120 日間の有効期限があります。

ライセンスを有効にすると、Web サイトでライセンス ファイルが生成されます。インストールすると、ライセンス ファイルにより、購入または評価中のソフトウェアおよび IP の使用が有効になります。ライセンスやライセンス キー ファイルはザイリンクス Web サイトで管理します。

ライセンス アカウントは、ザイリンクス ソフトウェア購入リストの個人に与えられ、エンド ユーザーまたは管理者のいずれかになります。管理者が 1 人の場合は同じライセンス アカウントですべての購入を管理できます。企業の場合は、異なる管理者によって複数のアカウントを持つことができるので、デザイン チームが複数存在し、別々のプロジェクトをしている場合や予算が異なる場合などに便利です。

メモ：ライセンス キーは、製品権利の期限が切れていても生成でき、有効期限までにリリースされているバージョンに対しては使用できます。ただし、ライセンスの有効期限後にリリースされた製品に対して、このライセンスを使用するとエラーになります。

ISE Design Suite 12 の LogiCORE IP ライセンスの生成

ISE Design Suite 12 からは、LogiCORE IP のライセンスはザイリンクスのラウンジ サイトからではなく、自動化されて、その他のソフトウェアと同じ方法で生成できるようになりました。

LogiCORE IP の購入リクエストがザイリンクス システムに入力されると、2 時間以内に製品ダウンロードおよびライセンス (Product Licensing) サイトから生成できるようになっています。

IP および購入済みソフトウェア ライセンスはすべて、製品ライセンス サイトにログインするとリストされます。評価用ライセンスおよび無償 IP のライセンスも同じサイトから入手できます。すべてのソフトウェアおよび IP のライセンスが 1 度で生成でき、1 つのライセンス ファイルがメールで送信されます。また、IP コアの FLEXnet ライセンスには、シングルまたはトリプル リダンダントフローティング サーバーなどのライセンス オプションが増えたほか、イーサネット MAC アドレス、ハード ドライブ シリアル番号、USB ドングル ID などのノード ロック ライセンス キーのホスト オプションも増えています。

ユーザー タイプとアクション

製品ライセンス サイトには、カスタマ アカウント管理者、エンド ユーザー、評価ユーザーの 3 つのユーザー タイプのいずれかでアクセスできます。

カスタマ アカウント管理者

各アカウントに、必ず 1 人のカスタマ アカウント管理者が必要です。カスタマ アカウント管理者は、複数のアカウントを管理できます。

カスタマ アカウント管理者には、次のような権限があります。

- ザイリンクス ソフトウェアおよび IP 製品のノード ロックまたはフローティング ライセンスの生成
- アカウントからのユーザーの追加と削除
- ほかのユーザーへの管理者権限の割り当て

カスタマ アカウント管理者の情報は、製品注文の過程で送付先として指定され、管理者の電子メール宛に購入した製品のダウンロードおよびライセンス情報などが送付されます。カスタマ アカウント管理者が電子メールのリンクをクリックすることで、購入した製品へのアクセスができますようになります。

エンド ユーザー

エンド ユーザーをアカウントに追加すると、ライセンス キーの管理や生成を各エンジニアやデザイン チーム メンバーなどが管理できるようになります。エンド ユーザーは、アカウント内でノード ロック付きライセンス キーを生成できるほか、評価版の入手、ソフトウェアや IP 製品の無料ライセンス キーも生成できます。カスタマ アカウント管理者は、エンド ユーザーがフローティング ライセンスを生成できるように、エンド ユーザーのアカウントを設定できます。ただし、エンド ユーザーには、次のような制限があります。

- デフォルトの設定のままではフローティング ライセンス キーを生成できません。この権限は、カスタマ アカウント管理者が設定できます。
- ほかのユーザーが生成したライセンス キーは表示されません。
- ほかのユーザーをサイトから追加または削除できません。

評価ユーザー

評価ユーザーは、ISE Design Suite 12 製品を試してみたい方向けのアカウントです。評価ユーザーは、次を実行できます。

- ISE Design Suite 12: System Edition の 30 日間無償の評価版ライセンス キーを生成できます。
- 評価版および無償の IP 製品のライセンス キーを生成できます。

メモ： ISE Design Suite 製品エディションのフル バージョンのライセンスを既に持っている場合は、それ以外の ISE Design Suite 製品エディションまたは IP を試用できます。これらのライセンスは同じアカウントで入手できるようになっています。

どのタイプのユーザーでも、製品の電子ダウンロード、ISE Design Suite 12 の DVD の請求ができます。

ライセンス ファイルの生成

ライセンス ファイルは、製品ライセンス (Product Licensing) サイトの [Create New Licenses] タブから生成します。購入済みまたは評価するソフトウェア ツールおよび IP 製品が表にリストされます。

The screenshot shows the Xilinx Product Licensing interface. At the top, there's a navigation bar with links like 'My Account', 'Sign Out', 'Language', 'Documentation', 'Downloads', and 'Contact Us'. Below this is a search bar with the text 'enter keywords' and an 'Advanced Search' link. The main navigation tabs are 'Product & Services', 'Technology Solutions', 'Market Solutions', 'Support', 'Buy Online', and 'About Xilinx'. The 'Support' tab is selected, leading to the 'Product Licensing' page. The page shows the user is logged in as 'Xilinx Test Account - 10101'. There are buttons for 'Create New Licenses', 'Manage Licenses', and 'Manage Users'. Below these are sections for 'Redeem Voucher' and 'Evaluation and No Charge Cores'. The main section is 'Create a New License File for Account: Xilinx', which includes a table of available licenses and buttons to 'Generate Floating License' or 'Generate Node-Locked License'.

Product	Type	License	Available Seats	Status	Subscription End Date
<input type="checkbox"/> ISE Design Suite: System Edition	Evaluation	Node	1/1	Current	30 days
<input checked="" type="checkbox"/> ChipScopePro Standalone Including Serial IO Toolkit	Full	Floating	49/50	Current	31 Mar 2010
<input type="checkbox"/> Embedded Developers Kit, Node-Locked License	Full	Node	48/50	Current	31 Mar 2010
<input checked="" type="checkbox"/> ISE Design Suite: System Edition	Full	Floating	50/50	Current	31 Mar 2010
<input type="checkbox"/> ISE Design Suite - Embedded Edition, Floating License	Full	Floating	44/50	Current	31 Mar 2010

図 4-4 : 新規ライセンスの作成

製品の選択

購入済みまたは評価する製品のライセンスを、次の手順で生成します。

1. [Account] ドロップダウン リストからアカウントを選択します。
 メモ : 評価版または無償の製品を使用する場合は、このドロップダウン リスト は表示されません。
2. キットと一緒に購入したソフトウェアまたは IP 製品ライセンスのバウチャー コードがある場合は、それを入力します (オプション)。

3. 評価版または無料の IP 製品を表に追加します。
4. 表から製品を選択します。

ライセンスの種類は、**Full** (購入済み)、**No Charge** (無償)、**Evaluation** (評価) のいずれかになります。フル ライセンスおよび無償ライセンスの場合は、1 年間の有効期限があります。ソフトウェア ツールの評価版は 30 日、IP の評価版は 120 日間の有効期限があります。

フローティング ライセンスとノード ロック ライセンスを同じライセンス キー ファイルに混ぜることはできません。

メモ：フローティング ライセンスはネットワーク サーバーにのみ置くことができ、アプリケーションを起動するとライセンスがチェックアウトされます。同時に使用できるユーザーの数は、購入したライセンスの数によって異なります。ノード ロック ライセンスの場合は、特定のマシンに 1 ライセンスの使用が認められます。

ソフトウェア ツールの場合、表の **[Available Seats]** に購入したライセンスの総数が表示されます。IP の場合、ライセンスはサイトの契約に従って管理されます。

表の **[Status]** に「**Current**」と表示されている場合は、その製品が保証期間内にあることを示し、「**Expired**」と表示されている場合は、その保証期間が終了したことを示しています。**[Available Seats]** の数がまだある場合は、「**Current**」または「**Expired**」の製品のライセンスを生成できます。

ISE Design Suite の System Edition Evaluation は ISE Design Suite ツールセットすべての機能にアクセスできる評価版です。このライセンスは自動的にアカウントに含まれます。

ソフトウェアおよび IP 製品ライセンスの製品バウチャーは、ザイリンクスまたはパートナーの開発ボードまたはデザイン キットと共に送信されます。製品バウチャー カードを所持している場合は、カードに記述されたバウチャー コードをテキスト フィールドに入力し、**[Redeem Now]** ボタンをクリックします。これで、該当するソフトウェアまたは IP 製品が表に追加され、ライセンス キーが生成できるようになります。

ページ内の [Add Evaluation and No Charge IP Cores] セクションで [Search Now] ボタンをクリックすると、次のようなページが表示され、評価版および無償の IP を検索して製品リストに追加できます。

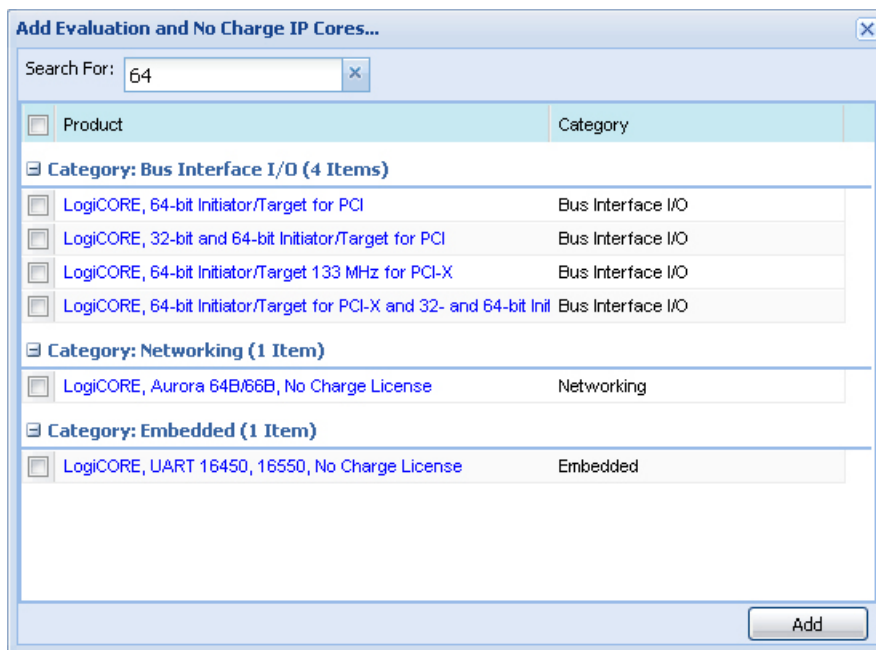


図 4-6 : IP 製品の選択

メモ : IP 製品は、通常サイト ライセンスとして販売されており、管理者がフローティング ライセンスおよびノード ロック ライセンス タイプのライセンス キーを生成できるようになっています。エンド ユーザーの場合は、ノード ロック ライセンス製品しか表示されません。カスタマ アカウント管理者、またはフローティング ライセンスの生成を管理者から許可されたエンド ユーザーの場合は、ノード ロックとフローティングの両方が表示されます。

ライセンスの生成

生成するライセンス キー ファイルの種類によって、[Generate Node-Locked License] または [Generate Floating License] ボタンが表示されます。[Generate Floating License] をクリックすると、次のようなライセンス生成フォームが表示されます。

Generate Floating License
Fields marked with an asterisk * are required.

1 PRODUCT SELECTION

Product Selections *	Product	Type	Available Seats	Subscription End Date	Requested Seats
<input checked="" type="checkbox"/>	ChipscopePro Standalone Including	Full	50/50	30 MAR 2010	50
<input checked="" type="checkbox"/>	ISE Design Suite: System Edition	Full	50/50	30 MAR 2010	50

2 SYSTEM INFORMATION

License: Floating

Redundancy ? ☒ Non-Redundant ☐ Triple Redundant

Host ID ?

3 COMMENTS

Comments ?

図 4-8：フローティング ライセンスの生成

このフォームを次のように変更します。

1. 各製品のライセンス数を選択します。

[Available Seats] の数は、システムにより自動的に管理されます。シート数がライセンスの数に達していない場合は、[Requested Seats] フィールドが表示されます。有効化されたライセンス数がシート数に達すると、表からその製品が削除されます。

2. システム情報を入力します。

ザイリンクス ライセンス コンフィギュレーション マネージャ (XLCM) 内のリンクから製品 ライセンス (Product Licensing) サイトにアクセスした場合、オプション メニューにシステム情

報があらかじめ入力されています。Windows の場合、[プログラム] → [Xilinx ISE Design Suite 12] → [アクセサリ] → [ザイリンクス ライセンスの管理] から XCLM を起動できます。Linux の場合、シェルから `xlcm` と入力してください。

[Redundant Server] を [Yes] にしておく、ライセンス マネージャ ソフトウェアのファイル オーバー機能がオンになるので、3 つのサーバーのうち 2 つが実行されている限り、ライセンス マネージャは続行して実行されます。

システム情報が入力されていない場合は [Select a host]、別のホストを追加する場合は [Add a host] をクリックし、ホストを追加します。

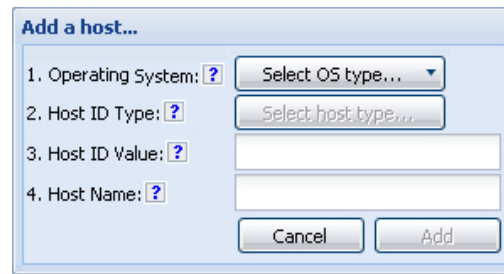


図 4-10 : ホストの追加

ホスト ID とは、ソフトウェアまたは IP のライセンスが与えられたマシンを識別する値で、MAC アドレス、ハード ドライブのシリアル番号、dongle ID、Solaris ホスト ID などを選択できます。

メモ：ホスト ID のタイプすべてが全 OS でサポートされているわけではありません。ホスト ID を取得するには、ライセンス ホストとなるマシンで XCLM を実行するのが一番簡単な方法です。

3. コメントを記述します。

コメントを追加すると、管理者がソフトウェアや IP のライセンスをユーザー間でどのように分けたかなどの記録を残すことができます。

4. [Next] をクリックします。

次のようなライセンス リクエストを確認するフォームが表示されます。

Generate Floating License

4 REVIEW LICENSE REQUEST

Product Selections

Product	Subscription End Date	Available Seats	Requested Seats
ChipscopePro Standalone Including Serial IO Toolkit	2010-03-30	50/50	50
ISE Design Suite: System Edition	2010-03-30	50/50	50

System Information

License	Floating
Redundant Server	No
Host Name(s)	TestPC1
Host ID	132413241234

Previous Next Cancel

図 4-12：ライセンス リクエストの確認

5. 内容を確認します。
6. 入力後、[Next] をクリックします。

エンド ユーザー ライセンス契約 (EULA)

ISE Design Suite ソフトウェア ツールと無償 IP の EULA は、製品のインストール プロセス中に許諾されます。IP 製品のライセンスを取得するには、ライセンス ファイルを生成する前に該当する IP 製品の EULA を許諾する必要があります。

サードパーティのライセンス

12.3 のサードパーティ ライセンスのコピーは、
<install_directory>/common/licenses/unified_3rd_party_eulas.txt に含まれます。

ライセンス生成の確認

ライセンス生成プロセスが終了したら、次のような確認メッセージが表示されます。

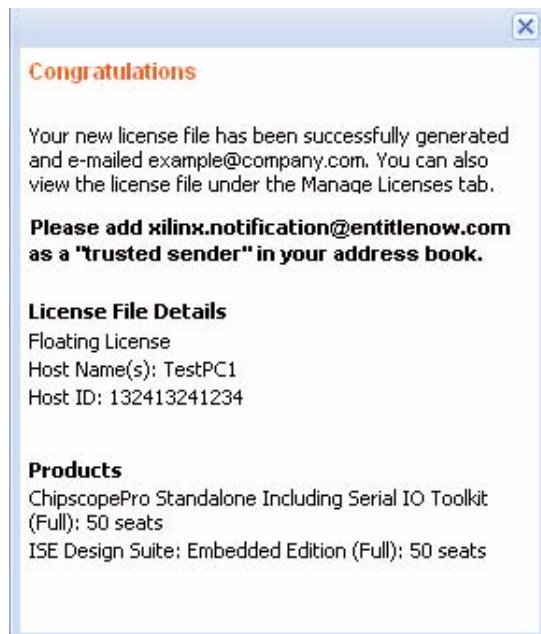


図 4-14 : ライセンス生成の確認

ライセンスを生成すると、確認メールも送信されます。このメッセージには、生成したライセンスファイルが添付されます。アドレスブックに `xilinx.notification@entitlenow.com` を信頼する送信者として追加しておいてください。

ライセンス ファイルの管理

製品ライセンスのサイトでは、生成したライセンス ファイルの記録が残ります。[Manage Licenses] タブには、そのアカウントで生成したライセンス ファイルすべてが表示されます。

My Account | Sign Out | Language | Documentation | Downloads | Contact Us

enter keywords Advanced Search

Product & Services | Technology Solutions | Market Solutions | Support | Buy Online | About Xilinx

Home : Support : Product Licensing
Product Licensing

Looking to register 10.1 or earlier software products?

Account: Xilinx Test Account - 10101

Help

Create New Licenses | Manage Licenses | Manage Users

Manage License Files for Account: Xilinx Test Account

Host Name	Host Type	Host ID	License Type	OS	Created By	Created Date
TestPC1	Ethernet MAC	132413241234	Floating	Windows 32-bit	Demo User	30 MAR 2009
TestPC2	Ethernet MAC	abcde12abcde	Node	Windows 32-bit	Demo User	30 MAR 2009
TestPC4	Ethernet MAC	129012901290	Node	Windows 32-bit	Demo User	30 MAR 2009

TomTestPC1 **132413241234** **Floating** **Tom Hirsh** **30 MAR 2009**

Comments
ISE Design Suite product licenses for Portland design team. Reference PO #123456.

Product	Type	Status	Subscription End Date	Activated Seats
ISE Design Suite: Embedded Edit	Full	Current	30 MAR 2010	40
ChipscopePro Standalone Includ	Full	Current	30 MAR 2010	50

Modify License

Jobs | Investors | Feedback | Legal | Privacy | Trademarks | Sitemap

© Copyright 2010 Xilinx

図 4-16：ライセンスの管理

[Manage Licenses] タブからは、必要に応じて次を実行できます。

既存ライセンス ファイルの検索と抽出

ユーザーのアカウントから生成したライセンス ファイルに関する情報は、マスタ ビューと詳細ビューに表示されます。上部の表 (マスタ ビュー) で行をクリックすると、そのライセンス キー ファイルの詳細情報が下部の表 (詳細ビュー) に表示されます。詳細ビューの表には、次の情報が含まれます。

- そのファイルで有効になった製品のリスト
- そのファイルに関連するコメント
- ライセンス ファイルをダウンロードまたはメール送信する機能
- ライセンス ファイルを開いて内容をコピーする機能
- ライセンス ファイルの削除機能
- 許諾したエンド ユーザー ライセンス契約を表示する機能

ライセンス ファイルの修正

既存のライセンス ファイルを修正するには、マスタ ビューでそのライセンス ファイルを選択し、下の詳細ビューで [Modify License] ボタンをクリックします。次を修正できます。

- ライセンス サーバー ホストの変更
- 既存のライセンスのシート数を変更または削除 (フローティング ライセンスのみ)
- 既存の製品ライセンスシート数の無効化や削除
- 別の製品のライセンスを追加
- ライセンス ファイルから製品ライセンスの無効や削除

無効になった製品ライセンスの有効化

製品ライセンスは、次のいずれかが実行されると無効になります。

- ライセンス サーバー ホストの変更
- 既存の製品ライセンスシート数の無効化や削除
- ライセンス ファイルから製品ライセンスの無効や削除

無効にされたシートまたは製品ライセンスは [Create Licenses] タブで有効にすると、再び発行できるようになります。

ライセンスを再発行する前に、まず破棄証書文を許諾します。この法的契約は、無効になった製品ライセンスが使用されていないことを確認するために必要です。

再発行の数は、ユーザーごとに記録されます。製品ライセンスはメジャー リリースごとに管理者は 5 回、エンド ユーザーは 3 回再発行できます。

ユーザー アクセスの管理

各ユーザーのアカウントの権限は、変更可能です。アカウントへのユーザーの追加や削除は、[Manage Users] タブから実行します。

Account: Xilinx Test Account - 10101

Looking to register 10.1 or earlier software products? [Help](#)

Create New Licenses Manage Licenses **Manage Users**

Users for Account Xilinx Internal

Name	E-Mail	Administrator	Floating	
Brown, Bob	Bob.Brown@example-company.com	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
Johnson, Jane	Jane.Johnson@example-company.co	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
Not Yet Registered	Sam.Smith@example-company.com	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

Add new user to account Xilinx Internal - Xilinx Internal
An e-mail invitation will be sent. Additional account information will be added when the new user logs in to the system.

☐ Add as a full administrator
☐ Allow floating licenses

Add User

Site license restrictions for IP products [?](#)

図 4-18 : ユーザーの管理

ユーザーの追加

アカウントにユーザーを追加するには

1. 新しいユーザーの会社の電子メール アドレスを入力します。
2. 管理者権限を与える場合は、[Add as a full administrator] チェック ボックスをオンにします。フローティング ライセンスを生成する 権限を与え、管理者権限を与えない場合は、[Allow Floating Licenses] チェック ボックスをオンにします。

メモ：入力する電子メール アドレスは、そのユーザーがザイリンクス アカウントを作成したときに使用したアドレスと同じである必要があります。別のアドレスを使用すると、ログインしたときにそのユーザーが正しく認識されない可能性があります。

ユーザーが既に製品ライセンス サイトにアクセスしたことのある場合、名前が自動的にユーザー リストに表示されます。このサイトにアクセスしたことがない場合は、名前のところに [Not Yet Registered] と表示されます。ユーザーがサインインをすると、名前が表示されます。

管理者権限のないエンド ユーザー ([Add as full administrator] と [Allow Floating Licenses] チェック ボックスの両方をオフにした場合) は、次の機能が使用できます。

- ノード ロック ライセンス キーのみ生成可能
- 自分自身で生成したライセンス ファイルのみ表示および修正可能
- ユーザー管理は不可

[Allow Floating Licenses] のみをオンにした場合は、フローティング ライセンス キーの生成はできますが、その他の制限はそのままです。管理者権限にはフローティング ライセンスを生成する権限が既に 含まれるため、両方のチェック ボックスをオンにすることはできません。

ユーザーの削除

管理者権限またはフローティング ライセンス生成権限は、該当するユーザーの [Administrator] または [Floating] チェック ボックスをオフにすると、無効にできます。

ユーザーをアカウントから削除するには、該当するユーザーのゴミ箱アイコンをクリックします。

ライセンス キー ファイルのインストール

ノード ロック ライセンスのインストール

ライセンス ファイルを生成すると、xilinx.notification@entitlenow.com からメールが届きます。

1. このメールに添付されたライセンス ファイルをローカルの一時ディレクトリに保存します。
2. Xilinx License Configuration Manager を実行します。
 - ◆ Windows の場合 : [スタート] → [プログラム] → [Xilinx ISE Design Suite 12.3] → [アクセサリ] → [ザイリンクス ライセンスの管理] をクリック
 - ◆ Linux の場合 : シェルから xlicm と入力
3. [Manage Xilinx Licenses] タブをクリックします。
4. ページ上部の [Copy License] ボタンをクリックします。
5. 保存したライセンス ファイル (Xilinx.lic) を参照ボタンで選択し、[開く] をクリックします。

これで、ライセンス ファイルが C:\.Xilinx (Windows) または <Home>/.Xilinx にコピーされ、ザイリンクス ツールから自動的に認識されるようになります。

6. [Copy License] ボタンを使用すると、[Manage Xilinx Licenses] タブの表がライセンス ファイルからの情報に従ってアップデートされます。
7. Xilinx License Configuration Manager を [Close] で終了します。

サーバーへのフローティング ライセンスのインストール

既存の FLEXnet ライセンス サーバーの場合は、xilinx.notification@entitlenow.com から送信されたライセンス ファイルの内容を FLEXnet サーバーの既存のライセンス ファイルにコピーします。

メモ：フローティング ライセンス サーバーを再起動して、ザイリンクス ライセンスを有効にします。

新規ライセンス サーバーの場合

1. 次のサイトからサーバーの OS に最適なザイリンクス FLEXnet ライセンス ユーティリティをダウンロードします。

<http://japan.xilinx.com/download/index.htm>

メモ：FLEXnet ライセンス ユーティリティにアクセスできるのは、製品ライセンス サイトのカスタマ アカウント管理者のみです。ご自身がカスタマ アカウント管理者であるかどうかを確認する方法は、「[ユーザー タイプとアクション](#)」を参照してください。

2. これらのユーティリティをディレクトリで解凍します。このディレクトリは、アプリケーションの検索パスに置くことをお勧めします。
3. FLEXnet ユーティリティをインストールしたら、次のコマンドを実行して、フローティング ライセンス サーバーを起動します。

◆ Linux の場合

- <Server Tool directory>/bin/linux/lmgrd -c <path_to_license>/Xilinx.lic -l <path_to_license>/log1.log
- <Server Tool directory> bin/linux64/lmgrd -c <path_to_license>/Xilinx.lic -l <path_to_license>/log1.log

◆ Windows の場合

- <Server Tool directory>\bin\nt\lmgrd -c <path_to_license>\Xilinx.lic -l <path_to_license>\log1.log
- <Server Tool directory>\bin\nt64\lmgrd -c <path_to_license>\Xilinx.lic -l <path_to_license>\log1.log

クライアント マシンからのフローティング ライセンスの指定

1. Xilinx License Configuration Manager (XLCM) を実行します。
2. [Acquire a License] の画面で [Manage Xilinx Licenses] タブをクリックします。
3. port@server の形式でライセンス サーバーへのネットワーク パスを
XILINXD_LICENSE_FILE フィールドに入力し、その隣の [Set] ボタンをクリックします。
デフォルトのザイリンクス ポート番号は 2100 です。

メモ : Linux の場合、ライセンス環境変数は Xilinx License Configuration Manager (XLCM) を使用して設定できません。環境変数フィールドは、読み出し専用なので、選択できないように淡色表示され [Set] ボタンも表示されません。環境変数は、該当するシェルおよびコマンドを使用して設定する必要があります。

テクニカル サポート、サービス、関連文書

この章では、テクニカル サポート、サービス、関連文書について、次のセクションに分けて説明します。

- 「テクニカル サポート」
- 「トレーニング サービス」
- 「マニュアル」

テクニカル サポート

技術的な質問については、ザイリンクス サポート サイトを参照してください。

<http://japan.xilinx.com/support/>

このサイトでは、アンサー データベースを検索したり、次のセルフ サポート機能を使用することができます。

- 資料ページ : <http://japan.xilinx.com/support/documentation/index.htm>
- ダウンロード センタ : <http://japan.xilinx.com/support/download/index.htm>
- アンサー ブラウザ : <http://japan.xilinx.com/support/answers/index.htm>
- ザイリンクス ユーザー コミュニティ フォーラム : <http://forums.xilinx.com/>
- デザイン リソース - ビデオ デモ : <http://japan.xilinx.com/design>

オンライン リソースを使用しても問題が解決しない場合は、ザイリンクス テクニカル サポートまで直接ご連絡ください。

<http://japan.xilinx.com/support/techsup/tappinfo.htm>

トレーニング サービス

ザイリンクスでは、プログラマブル ロジック デザインのエキスパートやザイリンクス承認のインストラクタによる高品質なトレーニング サービスを提供しています。トレーニングには、オンサイトおよびオンラインのインストラクタによるものと、ご自身のペースで学ぶことのできる録画済みのビデオなどがあります。

次のサイトからは、トレーニング コース、無料のオンデマンド トレーニング、ライブのオンライン トレーニング、イベントなどの詳細情報が入手できます。

<http://japan.xilinx.com/support/education-home.htm>

マニュアル

ザイリンクスでは、ISE Design Suite を使用するのに役立つ技術文書を提供しています。

オンライン ヘルプ

グラフィック ユーザー インターフェイスのある ISE Design Suite ツールのほとんどのツールから、状況に応じたオンライン ヘルプを利用できます。オンライン ヘルプは、Project Navigator で [Help] → [Help Topics] をクリックしても表示できます。

ソフトウェア マニュアル

ISE Design Suite の詳細なソフトウェア マニュアルおよびコマンド ライン機能は、ソフトウェア インストールに含まれます。ソフトウェアをインストール後、Project Navigator で [Help] → [Software Manuals] をクリックすると、ソフトウェア マニュアルのコレクションが表示されます。

メモ：ソフトウェア マニュアルを表示するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

Xilinx Platform Studio (XPS) では、文書のナビゲーション ページがデフォルトの開始画面になっています。この文書のタブからすべてのエンベデッド開発キット (EDK) に関するマニュアルを表示することができます。XPS を起動せずにマニュアルを開く場合は、\$XILINX_EDK/doc/japanese ディレクトリの edk_documentation_locator.htm ファイルを参照してください。

Web サイトからソフトウェア マニュアルを参照するには、次の手順に従ってください。

1. 資料ページ (<http://japan.xilinx.com/support/documentation/index.htm>) にアクセスします。
2. [デザイン ツール] タブをクリックします。
3. ISE Design Suite のようなデザイン ツールのカテゴリをクリックするか、「すべてのデザイン ツール資料」をクリックします。
4. ISE Design Suite に含まれるツールのマニュアルは、[「ISE Design Suite ソフトウェア マニュアルおよびヘルプ - PDF コレクション」](#) からデザイン フロー別に参照することもできます。

ユーザー チュートリアル

チュートリアルは、次のサイトから表示できます。

<http://japan.xilinx.com/support/techsup/tutorials/index.htm>

ソフトウェア メッセージ

ISE Design Suite で表示されるエラー メッセージ、警告メッセージ、情報メッセージの日本語訳は次の Web サイトから入手可能です。

<http://japan.xilinx.com/japan/support/jmessages/index.htm>

Project Navigator の場合、コンソール ウィンドウに表示されるエラーまたは警告メッセージを右クリックし、[Go to Translated Message] をクリックすると、該当するメッセージの翻訳ページが開きます。

PlanAhead の場合、[Compilation Messages] ビューでエラーまたは警告メッセージを右クリックし、[Search for Japanese Translation] をクリックすると、該当するメッセージの翻訳ページが開きます。

サードパーティのライセンス

ザイリンクスは、ISE Design Suite で次のサードパーティ ベンダのソフトウェア ライセンスを使用する許諾を受けています。各ライセンスは、該当するソフトウェアのみに適用されるもので、その他に適用されるものではありません。サードパーティの所有するライセンスは英文のまま記載しています。

サードパーティ ライセンスの詳細は、『Xilinx Third-Party Licenses Guide』を参照してください。

